

# クルマを 持たない という 選択



かつてはクルマが必需品だと思っていたのですが、乗らない生活を実践してみたら、メリットが多いことに気がきました。

鍋田宣子さん

府中市内に勤務する鍋田さんは、現在車を所有しておらず、公共交通での移動がほとんどです。たまにカーシェアリングも利用しながら、自分のライフスタイルを作っておられます。鍋田さんに、現在の生活のお話を聞きました。



仕事は屋内が多いが、通勤の往復で歩くため、毎日約7,000歩は歩いている。

**Q** クルマを手放すきっかけを教えてください。

以前、神戸市に住んでいた頃、免許を取った息子が私のクルマを使いだした事を機に、クルマを使わない生活を考えたのがきっかけです。それ以降、公共交通で移動する生活をずっと続けていました。こちらに引っ越して来たとき、神戸と比較すると鉄道やバスの便数が少ない備後で同じような生活ができるか不安でしたが、多少の違いはあるものの、不便に感じるこ

**Q** クルマがある生活から切り替えて、変わった点を教えてください。

一つ目は、経済的な効果です。クルマを維持するより公共交通を主な移動手段にして生活する方が、家計が楽になりました。買い物は自分で持てる量を買うので、無駄な出費が無くなりました。また、公共交通などの移動費は車を維持するのにかかる費用と比べると半分以下ですみます。二つ目は、歩くことが習

とはありませんでした。

ユニバーサルデザイン  
UDタクシーをご存じですか。



UDタクシーとは、誰もが利用しやすいように作られた新しいタクシー車両で、車いすのまま乗車できることが特長です。市内でも少しずつ増えています。



車いすに乗ったままでも、乗車できます。

**Q** 今の生活に満足していますか。

慣になり腰痛が改善するなど、健康面で効果がありました。公共交通を使った生活が、良い運動習慣になっています。三つ目は、自分の時間が増えました。クルマは確かに自分の個室ですが、ずっと運転に集中しなければいけません。電車やバスの乗車時間に読書や仕事の整理ができ、移動時間を有効に活用しています。今の生活には満足していません。不便と感ずることはあまりないですね。友だちには、「クルマがないなら、迎えに行ったのに」とよく言われますが、移動時間は、それほど変わらないと思います。鉄道やバスの便数が少ないことで逆算して行動するようになりました。

皆さんも、クルマがあることが大前提の日々の暮らしを少し見直して、公共交通をうまく活用したライフスタイルを考えてみてはいかがでしょうか。